

※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

世界遺産とは何か。そして世界遺産が世界各国の観光ビジネスとどのような関係があるのか。イギリス、フランス、イタリア、スペインとアメリカを事例に世界遺産と観光資源、歴史、文化遺産などを学習します。各国はそれらの観光資源をどのように、世界にアピールしているのかを理解します。

本授業では縦軸に各国の主要世界遺産と歴史や文化の説明と案内を置き、横軸には本授業の講師の実務経験（外国政府観光機関（スカンジナビア及びタイ政府）のマーケティング責任者）の視点から、どのように世界遺産を外国人旅行者に紹介するかの具体的方法を検証します。

授業計画

第 1 回	授業概要と成績評価の方法
第 2 回	世界遺産と文化的影響力ランキング
第 3 回	イギリスの世界遺産案内（1）歴史遺産と自然景観の融合
第 4 回	イギリスの観光資源と観光政策研究（2）王室は重要な観光資源
第 5 回	フランスの世界遺産案内（1）パリは世界遺産の宝庫
第 6 回	フランスの世界遺産案内（2）美しい農村地域も世界遺産
第 7 回	フランスの観光資源と観光政策研究（3）景観保護の政策
第 8 回	イタリアの世界遺産案内（1）世界で一番世界遺産の多い国
第 9 回	イタリアの世界遺産案内（2）文化と歴史遺産の宝庫イタリア半島
第 10 回	イタリアの観光資源と観光政策研究（3）地方色の強い観光政策
第 11 回	スペインの世界遺産案内（1）イスラム教とキリスト教の融合文化が世界遺産
第 12 回	スペインの観光資源と観光政策研究（2）隠れた観光大国
第 13 回	その他欧州諸国の世界遺産案内と EU の観光政策研究（事例研究）
第 14 回	アメリカの世界遺産案内（1）自然遺産の宝庫アメリカ大陸
第 15 回	アメリカの観光政策研究（2）まとめ
第 16 回	定期試験

到達目標

- ①主要観光国の世界遺産と観光事情の概要を理解できようになる。
- ②具体的に観光文化資源（世界遺産を含む）のマーケティングの仕方が理解できるようになる。

履修上の注意

世界遺産に興味を持っている学生に受講を勧めます。

予習・復習

インターネットなどで事前に調べておくことをお勧めします。
また、毎回授業で配布する資料を整理してください。

評価方法

筆記試験の点数で評価します。

テキスト

毎回授業で資料としてプリントを配布します。